

編集後記

思い返すと、私はこれまでかなりの頻度で引っ越しをしてきました。大学院進学に伴う福岡への引っ越し、当時の彼女（現妻）との同棲に伴う引っ越し、博士学位取得後の核融合研への着任に伴う愛知への引っ越し、その1年後の京都工芸繊維大着任に伴う京都への引っ越し、さらにその翌年の名古屋大学着任に伴う名古屋市内への引っ越し——と、立て続けに住まいを移してきました。その間には結婚や息子の誕生といった人生の大きな出来事も重なり、「よくここまで乗り越えてきたな」と我ながら思います。

名古屋に来てからは、さすがに少しは落ち着けるだろうと思っていたのですが、また転機が訪れました。ある日、妻が最寄り駅で不動産屋の営業に声をかけられ、「持ち家を買いませんか」と勧誘を受けたのです。その後の展開は本当に早く、私自身も営業トークに乗せられる形で、わずか2週間のうちにローン契約までとんとん拍子に進んでしまいました。（助教という任期付きの立場で、

よくそんな決断をしたものだとも今でも驚いています。）そして、名古屋市内に引っ越してから半年ほどで、再び引っ越しを経験することになったのです。

新居に住み始めて1年ほど経ち、ようやく落ち着いた暮らしができています。建売住宅を購入したことや、不動産営業の深い闇、金利の仕組みの複雑さ等に戸惑うこともありましたが、実際に住んでみると意外に心地よく、家族で毎日楽しく過ごせています。これまでさまざまな土地を転々とするなかで気づいたのは、名古屋は暑さが厳しく、名古屋めしは少々口に合わないものの、博物館など文化施設が多く、子どもにいろんな経験をさせられる環境が整っていて、思いのほか気に入っているということです。

もう引っ越しは懲り懲りなので、名古屋ではもう少し長く暮らしていけるように、研究に精を出したいと思っています。（地元の九州に帰りたい妻を横目に……。）

（河内裕一）

プラズマ・核融合学会 役員

会 長	花田磨砂也		
副 会 長	大野哲靖	坂本瑞樹（推薦委員長：学会賞・男女共同参画委員長）	
常務理事	榊原 悟（総務委員長）		
理 事	渥美寿雄	居田克巳	稲垣 滋（企画委員長）
	大原 渡	兒玉了祐（広報委員長）	古閑一憲（支部・地区研究連絡会委員長）
	坂本克也	仙波智行（財務委員長）	高木浩一
	田中康規	鳥養祐二	村上 泉（編集委員長）
	吉田麻衣子		山田弘司（推薦委員長：研究助成）
監 事	前田達志	波多野雄治	

プラズマ・核融合学会 領域長

基 礎 大原 渡（山口大） 応 用 田中康規（金沢大） 核融合プラズマ 居田克巳（核融合研） 核融合炉工学 渥美寿雄（近畿大）

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：村上 泉（核融合研） 副委員長：鳥養祐二（茨城大）
エディタ：三瓶明希夫（京都工繊大）、重森啓介（阪大）、高橋裕己（核融合研）、石澤明宏（京大）、大矢恭久（静岡大）
編集委員：伊藤 悟（東北大）、犬伏雄一（JASRI）、太田雅人（核融合研）、小田靖久（摂南大）、梶田 信（東大）、
葛山 浩（鳥取大）、河内裕一（名大）、熊谷公紀（QST）、篠原正典（福岡大）、白戸高志（名大）、鈴木陽香（名大）、
瀬戸春樹（QST）、曾根宏隆（豊田自動織機）、高橋一匡（長岡技科大）、武村勇輝（核融合研）、中村友祐（名大）、
成田絵美（京大）、難波慎一（広島大）、沼波政倫（核融合研）、信太祐二（北大）、浜地志憲（核融合研）、
廣田 真（東北大）、松岡清吉（QST）、文 贊鎬（九大）、本島 巖（核融合研）、柳生義人（九大）、山崎広太郎（広島大）

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第101巻第10号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <https://www.jspf.or.jp/> 定価1,430円（本体1,300円）
印 刷 株式会社荒川印刷
2025年（令和7年）10月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。